



③



①



②

- ①テニスを始めたばかりのころ。小さい時からすでに素質の片りんをみせていた
- ②遠征先で知り合った同年代の外国人選手と
- ③サーブは得意プレーの1つ。攻撃的なプレースタイルに磨きをかける

世界一を目指して

八代ジュニアテニスクラブに所属する宮原小学校4年の梅田巴花さんは、同クラブ代表の父・龍一さんと兄・晴太郎さん、姉・菜々花さんの影響を受け、4歳からテニスを始めました。平日はクラブ活動と家族との練習、休日は大会出場など、テニスとともにある毎日を過ごしています。

アでは、4大会の1つ、全豪オープンで現地観戦。トップレベルを目の当たりにしたことが巴花さんにとって大きな刺激となり、練習の取り組み方も変わりました。

普段から県の高校チャンピオンである兄と姉、社会人選手らを相手に練習し、めきめきと実力をつけた巴花さんは、昨年11月から約1か月間、アメリカフロリダ州に遠征。

そこで出場した世界最大級のジュニア大会「リトルモア国際大会」で、10歳女子シングルスで頂点に立ち、ダブルスでも準優勝という快挙を成し遂げました。

家族の温かいサポートを受け、目標の世界一を目指して着実に実力をつける巴花さん。これからの活躍に大いに期待しましょう。

巴花さんの活動をSNSで発信中！



住人十彩

まちの「がんばりびと」を紹介

#23 2022 March
梅田 巴花さん(梅)とともか



梅田 巴花(うめだ ともか)

平成23年8月19日生まれ(10歳)
家族の影響で4歳からテニスを始める。以来、国内外の数々の大会で好成績を収める。双子の兄と姉も県チャンピオンのテニス一家。
八代ジュニアテニスクラブ所属。